

令和2年度農学部基本計画(経営戦略)

目 標	計 画	令和2年度検討課題	責任者・責任委員会
教育の質の向上	生物資源環境学科及び生命環境農学科の充実 —教育コースの充実・学生支援—	カリキュラムの改善(継続) ・新学科として初めての卒業生を輩出することから、学科共通科目、4つのコースのカリキュラムについて4年間の教育体系としての課題を抽出するとともに、各コースで協議してきたカリキュラム実施上の課題をふまえて、カリキュラムの見直しを行う。	生命環境農学科長
		学習指導体制の点検(継続) ・学科専門科目においては、出欠管理システムの積極的な利用を図り、学務支援システムを活用した出欠情報共有体制を構築する。 ・単位修得不良者への指導として、学科長—コース代表—チューター教員の体制を維持する。	生命環境農学科長
		入学センターと協力して、募集方法別に入学前教育の効果の検証を行う。	生命環境農学科長
共同獣医学科の充実 —教員組織の整備とカリキュラム改革—		効果的な教育方法の推進(継続) 新カリキュラムでの、遠隔講義、ならびに教員移動型授業や学生移動型授業の教育手法を引き続き検討し、さらなる改善、改良をめざす。	共同獣医学教育開発推進センター長
		臨床教育の充実(継続) ・臨床分野のうち、各年次開講科目の実施方法について、鳥取大学及び岐阜大学で検証し、必要に応じてこれまでの実施方法の改善を行う。 ・5年次開講の総合参加型臨床実習について、その実施方法の検証を継続する。	共同獣医学科長
		獣医師養成教育の水準向上(継続) ・従前の共同獣医学科カリキュラムから令和2年度入学生より適用する新カリキュラムへ円滑に移行するため、鳥取大学および岐阜大学の学年暦を見据え授業編成を行う。 ・獣医学共用試験を実施し、共同獣医学科第5期生における教育効果を検証する。 ・大学基準協会が提示した獣医学評価ハンドブックの獣医学教育評価自己点検・評価ワークシートにより、項目を選定した上で自己点検・評価の試行を継続する。	共同獣医学科長
保護者との連携		保護者説明会の開催(継続)	教務委員会委員長
大学間連携フィールド教育への参加		里山フィールド演習の実施(継続)	教務委員会委員長
受験生の増大		入試制度の点検(継続) ・調査を継続し、制度の点検により入試の改善を図る。	入試企画委員会委員長
		入試広報の充実(継続) ・広報媒体の点検・充実を図る。 ・ホームページによる情報発信の拡充を図る。	広報委員会委員長
		県内受験生の拡大(継続) ・県内受験生の拡大を図るために、引き続き県内高校等への説明会、校長への説明会を実施する。	入試企画委員会委員長
		総合型選抜、高校推薦型選抜の見直し(継続) ・引き続き総合型選抜、高校推薦型選抜Ⅰ、高校推薦型選抜Ⅱの改善を図る。	入試企画委員会委員長
就職支援		就職ガイダンスの充実(継続) ・学生にとって有益となるように、ガイダンスの内容と時期について検討する。 ・全学年を対象に一般企業及び公務員の卒業生との懇談会を実施する。 ・新型コロナウイルス感染拡大に伴う就職活動の影響に対する学生への情報提供とフォローを行う。 ・キャリアセンターと情報の共有化を行うなど、連携を取りながら就職支援を強化する。 ・障がいを持つ学生に対する就職支援のあり方について、学生支援センターと情報交換を検討する。	就職支援委員会委員長

目 標	計 画	令和2年度検討課題	責任者・責任委員会
教育の質の向上	就職支援	<ul style="list-style-type: none"> ・就職協定廃止に伴う学生への情報提供を行うとともに、就職活動状況の変化を把握する。 ・インターンシップ等の専門科目におけるキャリア教育について、学生の学外活動を把握する。 ・ふるさと鳥取定住機構と連携し、企業見学バスツアーへの参加者が増えるための検討を行う。 	就職支援委員会委員長
	地域の再生・活性化や「地(知)の拠点形成事業」に関する教育の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・生命環境農学科里地里山環境管理学コースにおいて、「里地里山演習Ⅰ・Ⅱ」等の科目で、積極的に地域に出かけて、その実情・課題等を学生が学習する授業を引き続き実施する。また、「地域連携による6次産業化人材育成プログラム」として、生命環境農学科共通専門科目である食マネジメント演習を中心による学外での視察を含む授業を実施する。(継続) ・「地域連携授業支援事業」の申請を行い、必要な予算の確保に努める。 	地(知)の拠点大学による地方創生推進室兼任教員
研究部の資金の導向上の推進	菌類きのこ遺伝資源研究センター及び鳥由来人獣共通感染症疫学研究センターの充実と活用	<ul style="list-style-type: none"> きのこ資源が生産する有用生理活性物質の探索(継続) ・大学機能強化のための医工農連携での取組である戦略2-3「健康で安全な社会のための菌類きのこ資源の活用推進」を推進し、抽出物を100サンプル作製し、ライブラリーの充実を図るとともに、それを活用して、医薬リード化合物等の有用生理活性物質及び農業分野、食品分野での利用に関する研究を進め、有用生理活性物質の特定を進め、特許出願2件以上を目指す。 ・企業等との共同研究を実施する。 遺伝資源の充実と利用促進、及び、地域貢献の推進(継続) ・新規きのこ遺伝資源の収集を進め、TUFIC保存株数の増加を図る。 ・TUFIC菌株の品質管理を進め、公開株数の増加を目指すとともに、菌株のDNA塩基配列情報も公開して、遺伝資源データベースの充実に努める。 ・海外分譲の制度を整え、実施する。 ・きのこ観察会を開催して、地域貢献に努める。 	菌類きのこ遺伝資源研究センター長
		<ul style="list-style-type: none"> ・農林水産省及び環境省との連携により、引き続き今後の高病原性鳥インフルエンザの国内発生に対応する。 ・北海道大学人獣共通感染症リサーチセンターとの特定共同研究「鳥由来人獣共通感染症病原体の解析」を推進する。(継続) ・農研機構による病性鑑定機能強化事業「鳥インフルエンザ発生時の疫学調査に係るウイルス検査体制の整備・実施」を継続する。 ・農林水産省戦略的プロジェクト「家畜の伝染病の国内侵入と野生動物由来リスクの管理技術の開発」を継続実施する。 ・環境研究総合推進費課題「鳥インフルエンザウイルスの効率的サーベイランスシステムの開発と希少鳥類への感染源となる水鳥の感受性評価」を継続する。 	鳥由来人獣共通感染症疫学研究センター長
	学内・学部内プロジェクトの推進	<ul style="list-style-type: none"> 教育・研究プロジェクトの推進(継続) ・新任教員のサポートについて引き続き行う。 	学部長
		<ul style="list-style-type: none"> 教員による学部内研究セミナーの開催(継続) ・新任教員の研究セミナーを開催する。 	学部長
外部資金の獲得	<ul style="list-style-type: none"> 農林水産省・環境省等他省庁を含めた研究費の獲得(継続) ・引続き文部科学省以外の省庁等の大型予算獲得に関する情報提供を行うとともに、研究推進機構、他学部との連携によるプロジェクトの育成と推進を援助する。 	学部長	
	<ul style="list-style-type: none"> 鳥取県・地域試験研究機関・企業との連携推進(継続) ・学部長が中心となり鳥取県・地域試験研究機関・企業との連携会議等を開催する。 	学部長	
	<ul style="list-style-type: none"> 科研費申請の義務制度の継続及び採択件数の増加に向けての取組実施(継続) ・申請書のブラッシュアップ等資金獲得に向けた取組を実施する。 	学部長	
	<ul style="list-style-type: none"> 競争的資金等の間接経費の取り扱い方針の評価(継続) ・光熱水費について、月別推移を把握し、教授会において公表する。 	学部長	
研究部の資金の導向	研究機器の整備と有効活用	<ul style="list-style-type: none"> 研究機器の充実と研究の効率化の推進(継続) ・共通機器の導入・管理方法を検討する。 ・文科省方針に従い、感染症対策を優先的にマスタープランの整備・点検・周知を行う。 	学部長

目 標	計 画	令和2年度検討課題	責任者・責任委員会
入上の推進	教員の研究活動活性化支援	教員の研究活動を活性化するための評価・支援方法の導入、特に、若手教員の研究力の強化(継続) ・若手教員の研究活動支援策を継続する。	学部長
社会貢献の推進	フィールドサイエンスセンターの活用	附属学校部からの要請に基づく学習の場の提供(継続)	フィールドサイエンスセンター長
		児童とその保護者を対象とした「あぐりスクール」を開講する。(継続)	フィールドサイエンスセンター長
	動物医療センターの充実と活用	地域の拠点病院としての強化(継続) ・センター教職員のスキルアップを進める。 ・共同研究成果報告会及び症例検討会を開催する。	動物医療センター長
		設備の整備(継続) ・CTとMRIの更新に向けて準備を進める。 ・センターの改修後10年を経過することから、機器の故障等に迅速に対応する。	動物医療センター長
		経営・運営面の強化(継続) ・電子カルテの診療項目の見直しを行う ・動物看護師の業務の効率化を進める。 ・受付業務の効率化を進める。	動物医療センター長
	リスク管理体制の強化(継続) ・院内感染防止に関する研修会を開催する。 ・インフォームドコンセントに対するセミナーを開催する。	動物医療センター長	
地域との連携		鳥取県・鳥取市及び大学との連携協定を結んだ自治体との連携の推進(継続) 日南町:平成31年度と同様に連携事業を進める。 南部町:米の食味向上に関する連携事業への支援を継続する。 琴浦町:芝結束機の改良の実証試験を行う。 鳥取県:大規模水田作経営の経営管理支援を継続する。 鳥取県、鳥取市:洗いラッキョウの調製機の実証試験をする。 ・八頭町との連携推進:ブランド米育成の支援を継続する。	学部長
		公開講座の推進(継続) ・大学主催の公開講座を実施する。	学部長
		農林業技術における連携の推進(継続) ・連携に努める。 ・地域の林業研修機関と協力して実習プログラムを開発する。	フィールドサイエンスセンター長
		鳥取県農林水産業産学官技術会議への参加(継続) ・活動を継続する。	フィールドサイエンスセンター長
運営体制の改善	運営の効率化と透明化	・教員の業績評価データを全学分への記入を学部中央経費で実施するとともに、全学分のデータの活用方法を検討する。	学部長
		農場収入・演習林収入の増収努力(継続) ・作付作目や作付計画を点検し、対前年度比10%の増収を図る。 ・木材、乾燥椎茸、木工加工品等の作製、販売に努める。	フィールドサイエンスセンター長
		予算・決算書の公開(継続) ・代議員会資料として、学内Webの教職員向けグループウェアに公開する。	事務長
		事務業務の合理化・効率化(新規) ・事務業務の合理化・効率化について検討・推進する。	事務長

目 標	計 画	令和2年度検討課題	責任者・責任委員会
運営体制の改善	運営の効率化と透明化	省エネの推進(継続) ・農学部経費削減推進委員会で管理経費の削減目標・計画の作成と具体的提案を教職員に行い、省エネを推進する。 ・光熱水料の削減目標を設定し、また、使用実績を教授会で報告するなど経費削減意識の高揚を図る。 ・光熱水料の受益者負担について検討する。 ・エコアクションパトロールを実施する。 ・エアコン使用前のフィルター清掃を実施する。 ・研究用実験室の月別電気使用量を学内Webの教職員向けグループウェアに公開する。	事務長
		・農学系部門の人員配置と将来の人事方針の見える化について検討を継続する。	学部長
		教育研究組織と運営の改善(継続) 多面的な評価が可能な入試を実施し、点検及び改善を図る。	学部長
確教安 保育全 研で 究効 空果 間的 のな	建物改修計画の推進	安全な教育研究環境の整備(継続) ・安防災管理の自主点検を継続する。 ・地震時行動マニュアルの点検配布と英語版の検討する。	施設管理委員会委員長
		周辺施設(FSC・菌類きのこ遺伝資源研究センター・動物医療センター)の整備計画の推進(継続)	学部長
国際交流の推進	国際交流の推進	国際交流の推進(継続) ・日韓合同国際シンポジウム等を活用した学生、教員の交流を推進する。 ・海外学術交流協定校との交流を推進する。 ・JICA集団研修コースでの国際交流を図る。	学部長
	海外教育研究拠点の拡大	海外教育研究拠点の活用(継続)	学部長